



学校だより

横浜市立南台小学校

5月号 令和2年(2020)年5月11日

学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/minamidai/> TEL842-1478~9

スマイル&チャレンジ!みんなつながる南台

一丸となって

校長 角井 治朗

風薫る5月を迎えました。心地よい風が吹き、過ごしやすい季節になりましたが、今年は例年と異なる状況になりました。5月31日まで臨時休校の延長が決まり、まだしばらく学校は、子どもたちの声が響かない寂しい状況が続きますが、一日も早い学校の再開、子どもたちとの再会を願いながら、職員一同、今できること、すべきことに精一杯取り組んでいきたいと思えます。

ところで、5月の初めにメール配信によるアンケートで、子どもたちの家庭での様子をお伺いしました。短い回答期間でしたが450件を超える多くのご家庭から回答をお寄せいただきました。結果を見ると、全体的な傾向として、食事や学習の達成度(「できている、おおむねできている」がそれぞれ98%、93%)に比べ、運動や睡眠に関する不安、規則正しい生活が送れていない様子(「できている、おおむねできている」がそれぞれ40%、74%)が見受けられました。外出自粛などによる運動不足、そして、運動不足のため、夜、なかなか寝付けないでいる子どもたち、そんな子どもたちを前に苦勞されている保護者の方々の様子が想像されます。また、休校が長期化し、イライラしたり不安感が募ったりといった様子に、子どもたちの心の健康への不安の声も寄せられました。休校の延長に伴い、今は目立った変化がない子どもたちも含め、丁寧な見取りとケアが必要になってきていることが伺えます。

これらのことを受け、学校でも、家庭学習の支援とともに、子どもたちが健康を維持したり、子どもたちや保護者の方々の不安を受け止めたりすることができるような支援や体制づくり、学校再開も見据えた学習や生活リズムを整える支援などに取り組んでいこうと考えていますので、お気づきの点があれば、ぜひ、子どもたちの声、保護者の方々の声を聴かせていただければ幸いです。

できないことや不自由なことが多く、なかなか先が見通せない不安が広がる中、心も疲れてきているのではないかと思います。厳しい状況は続いていますし、楽観もできませんが、状況が少しずつよい方向に向かっていることは間違いありません。希望をもち、また、一人ひとりが不安感や困り感を抱え込まず共有し合うことで、この困難な状況をみんなで一丸となって乗り越えていきましょう。